

# 宮本 紗光（みやもと・しゃこう）

## 1、プロフィール

川柳作家。20歳より川柳入門し弘前川柳社の創立同人、また青森県川柳社の創立同人として活躍。のち両川柳社の代表を務め、県柳界の発展に尽力した。

<生没>

1913(大正2)年2月4日～1990(平成2)年3月25日

<代表作>

句集『林檎樹』

<青森との関わり>

弘前市生まれ。同市内で文具店を経営。

## 2、作家解説

大正2年弘前市に生まれる。本名栄三。弘前市立商業専修学校卒業後、市内の「鍵屋」小間物卸店で修行。昭和13年父の経営する小間物化粧品店に参画、以後同店を経営。

昭和8年後藤蝶五郎宅での句会に参加し川柳入門。10年弘前川柳社創立同人。昭和21年青森県川柳社創立同人。40年弘前川柳社代表、63年まで務める。63年青森県川柳社代表、平成2年まで務める等、県柳界への功績は大きい。

昭和35年新人育成のため自宅を開放して「花園句会」を実施、後年61年より新人教室「ほのぼの句会」を開くなど、新柳人の育成に特に心をくだいた。また、自身は伝統的な作家ながら、革新的な川柳も認め、県川柳の質の向上を目指した功績もまた大きいものがある。

1990(平成2)年3月25日死去。享年77。

### 3、資料紹介

○『林檎樹』

図書

1989(昭和 64)年1月1日

220 mm × 155 mm

川柳句集。著者の唯一の句集で、これまでの全作品の中から 1085 句を収録、著者の川柳作家としての集大成といえる。序文を片柳哲郎が記す。編集工藤寿久、発行者本人。